

# バンクネガラインドネシア (BBNI)

貸出残高の堅調な伸びに支えられて業績好調、今後の成長に向けて E-Banking および子会社の業績に期待。  
 インドネシア | 銀行 | 業績フォロー

**フィリップ証券株式会社**

BLOOMBERG BBNI:J | REUTERS BBNI:JK

- 2019/12 期 1Q (1-3 月) は、営業収益が前年同期比 4.3% 増の 8.85 兆 IDR。純金利収益が同 12.1% 増、非金利収益が同 2.3% 増だった。
- 貸出残高は、貸出の質を保ちつつ企業向け・消費者向けともに堅調に伸びた。非金利収益はリカーリング収入への転換が進展した。
- 2019/12 通期計画に向けて進捗は順調である。E-Banking への注力、および金融関連子会社の業績寄与が今後の成長への鍵となろう。

## What is the news ?

4/24 発表の 2019/12 期 1Q (1-3 月) は、営業収益が前年同期比 4.3% 増の 8.85 兆 IDR。貸出利鞘の純金利収益が同 12.1% 増の 14.20 兆 IDR、手数料などの非金利収益が同 2.3% 増の 2.59 兆 IDR だった。引当金繰入前利益が同 5.9% 増の 6.89 兆 IDR。営業費用が同 4.1% 増の 5.49 兆 IDR だった。純利益が同 11.5% 増の 4.07 兆 IDR。引当金繰入額が同 9.5% 減の 1.72 兆 IDR だった。営業費用の伸び率が純営業収益の伸び率を下回ったこと、および引当金繰入額の減少が増益に寄与した。

総貸出残高は同 18.6% 増の 521.34 兆 IDR だったが、企業向け貸出残高が同 20.4% 増の 410.47 兆 IDR、消費者向け貸出残高が同 8.5% 増の 80.10 兆 IDR。貸出債権は、要注意先(Special Mention)債権の比率が 4.2% で前期末の 3.9% から微増だが、不良債権比率が 1.9% で前期末から変わらず、貸倒償却額が前年同期比 18.0% 減の 1.51 兆 IDR、償却後回収額が同 12.9% 増の 5,070 億 IDR と貸出の質が改善している。第三者預金残高(Third Party Funds)は同 16.8% 増の 575.74 兆 IDR だが、同預金の平均コストが前年同期の 2.8% から 3.2% に上昇した。非金利収益は、継続(リカーリング)収入が同 10.5% 増の 2.54 兆 IDR、非リカーリング収入が同 79.7% 減の 470 億 IDR となり、収入構造が変化している。貿易ファイナンス(同 18.5% 増)、カード事業(同 16.8% 増)、銀行保証料(同 18.6% 増)、デビットカード維持管理料(同 66.2% 増)、与信枠引受(同 91.5% 増)、ATM(同 24.3% 増)と総じて堅調に伸びた。

## How do we view this ?

2019/12 通期の会社計画は、貸出残高が前期比 13-15% 増(1Q 実績 18.6% 増)、預貸率が 88-90%(同 91.6%)、純金利マージンが 5.3-5.4%(同 5.0%)、不良債権比率が 1.9-2%(同 1.9%)、クレジットコストが 1.5-1.7%(同 1.3%) であり、第三者預金の平均コスト上昇が響いた純金利マージンを除いて順調に進捗している。同社への注目点は、モバイル・SMS・インターネット・代理電話(AGEN)・カード支払代行(Acquiring)などの E-Banking に注力している点、およびマルチファイナンス・証券・生命保険・シャリア(イスラム金融)といった子会社の業績寄与度が高まっている点が挙げられる。2019/12 通期の市場予想は当期利益が同 13.9% 増の 17.10 兆 IDR である。

## 業績推移

※参考レート 1IDR=0.0076円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
純利益(十億IDR)	11,338	13,616	15,015	17,108	19,752
EPS(IDR)	610.00	730.16	805.00	915.34	1,060.62
PER(倍)	14.06	11.74	10.65	9.37	8.08
BPS(IDR)	4,673.65	5,286.83	5,795.42	6,412.07	7,164.92
PBR(倍)	1.83	1.62	1.48	1.34	1.20
配当(IDR)	212.81	255.56	-	257.55	292.45
配当利回り(%)	2.48	2.98	-	3.00	3.41

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(IDR)	<b>257.55</b>	(予想はBloomberg)
終値(IDR)	<b>8,575</b>	2019/6/11

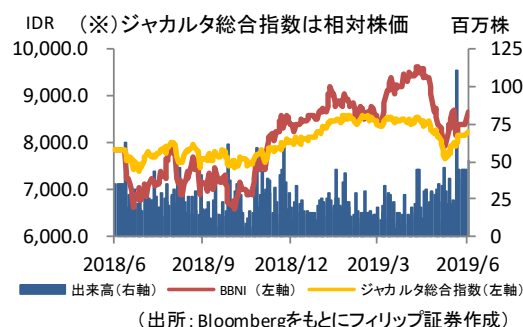
## 会社概要

1946年に設立した国有商業銀行。インドネシア政府によってインドネシア最初の銀行として設立され、当初は中央銀行と商業銀行の両方の機能を持ち、インドネシア初の紙幣の発行に携わった。1949年に蘭系ジャワ銀行に中央銀行業務を引き継いだ後、開発銀行および外国為替銀行の役割を担った。1955年の資本増強に伴い、国有商業銀行となった。1996年には国有銀行として初めてジャカルタ証券取引所に株式を上場した。

個人・法人向け商業銀行、国際金融、ウェルス・マネジメント、インターネットバンキング、テレフォンバンキング、モバイルバンキング等を提供している。特に、石油・ガス・鉱業、エンジニアリング、建設、通信、電力、化学、小売り・卸売、農業・食品の成長ポテンシャルの高いインドネシアの主要8産業にフォーカスし、成長のサポートを行っている。また、インドネシア経済の牽引役でもある中小企業への支援も行い、貸出を増やしている。また、個人顧客向けにはニーズに合わせ、ローン、デビットカード、クレジットカード、退職年金、バンカシュアランスなどサービス提供を行う。現在約1,000以上の国内支店と5つの海外支店を有し、インドネシア国内にATM網を備えている。

## 企業データ(2019/6/12)

ベータ値	1.40
時価総額(十億IDR)	160,378
企業価値=EV(十億IDR)	-
3か月平均売買代金(十億IDR)	218.4



## 主要株主(2019/6)

1.インドネシア共和国	58.84
2.VANGUARD GROUP	1.44
3.プルーデンシャル	1.28

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## アナリスト

笹木 和弘  
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980  
 増淵 透吾  
 togo.masubuchi@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707

# バンクネガラインドネシア(BBNI)

2019年6月12日

## 【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>